

新緑風会

加藤 公友 議員

安心して働き、子育てできる環境に向けて
(質問) 学校が長期休暇中の放課後児童クラブの開所時間について、通常の学校への登校時刻に統一することは可能なのかについて問う。

(答弁) 開所時間は、各放課後児童クラブの運営規程などで個別に定められていることから、市内での統一は難しい。しかしながら、引き続き放課後児童クラブとの連携を図り、長期休暇中の開所時間について個別に調整を図ることで、児童や保護者が安心して利用することができる環境整備、運営に努める。

その他の質問 ○定住移住促進 ○持続可能なものづくりのまちに向けて



無所属

矢田 真佐美 議員

鈴鹿市の公共下水道事業について

(質問) 公共下水道事業の遅れなどにより不公平が生じているが、事業の経過と現状は。また、防災減災を想定した取り組み内容を問う。

(答弁) 国の方針により下水道整備区域計画の見直しを余儀なくされた。合併浄化槽への対応に補助金などで市民の負担軽減を図る。また、下水道施設の耐震対策として、緊急輸送路などのマンホール浮上対策は完了しており、避難所支援対策として、小中学校などの避難所へのマンホールトイレの設置を実施している。

その他の質問 ○乳児・幼児保育の支援 ○鈴鹿市内の音楽環境



諸派
(日本共産党)

高橋 さつき 議員

包括的性教育について

(質問) 予期せぬ妊娠や性犯罪・性暴力の被害者、加害者、傍観者にさせないための性教育が必要。人権・ジェンダー平等、性の多様性など社会的、文化的に幅広く性を学び、自己肯定、自己決定能力などを学ぶ世界基準の包括的性教育を取り入れるべき。全ての性の権利が保障され安心して過ごせる学校の環境づくりを求める。

(答弁) 今後は、幼児期や小学校低学年から家庭と連携して「生命(いのち)の安全教育」を推進し、教職員研修の充実も図る。

その他の質問 ○コンビニ成人誌販売の配慮



諸派
(日本共産党)

石田 秀三 議員

地震災害への備えについて

(質問) ①耐震診断事業は旧耐震基準(震度5強)により建築された木造住宅を対象としているが、新耐震基準、2000年基準(震度7)の住宅にも拡大してはどうか。②危険なブロック塀の除去を進めるため、その除去に要する経費の一部を補助する助成金制度を拡大してはどうか。

(答弁) ①新耐震基準により建築された木造住宅の耐震診断への支援について、国・県の動向を注視し検討していく。②助成金制度の拡大について、今後、調査・検討していく。

その他の質問 ○戸籍氏名への読み仮名記載



市民の声

市川 昇 議員

鈴鹿市の将来を見据えた産業振興について

(質問) 本市の製造業における出荷額は、現在県内3位に後退し、今後将来を見据えた産業振興の施策が急務である。①企業誘致の推進、②雇用対策、③中小企業の安定および強化、この3点についてお聞きしたい。

(答弁) ①市の強みを生かし、新たに策定する鈴鹿市企業誘致推進戦略に基づきスピード感を持って取り組む。②「鈴鹿deはたらこっ!プロジェクト」の策定など積極的な雇用対策に取り組む。③ものづくり産業支援センターによる人材育成や巡回訪問を行い、企業に寄り添った支援を行っている。



新緑風会

大杉 吉包 議員

空家対策について

(質問) 全国の空き家率は13.6%と過去最高となっているが、本市の状況は。また、昨年12月に空家法の一部を改正する法律が施行されたが、その内容と今後の対策について問う。

(答弁) 本市の空き家件数は令和4年度の調査で1,637件。改正法の内容は、接道がなくても建築基準法の特例許可を受ければ建て替え可能、市長も財産管理人の選任請求が可能、固定資産税の住宅用地特例解除など。今後は、空き家バンク制度の活用、住まいの終活セミナーの開催を通して対策を強化する。

その他の質問 ○地籍調査

